

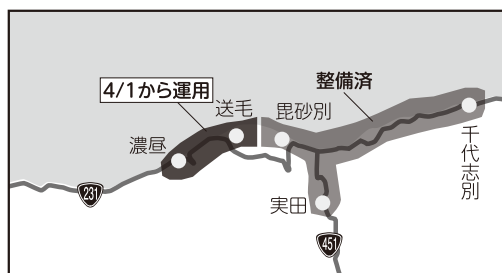
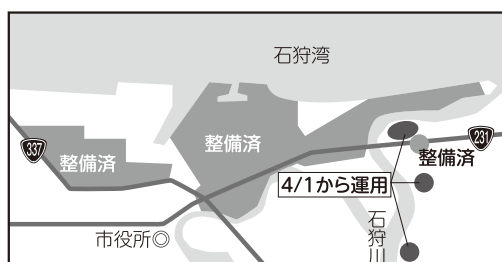
4/1から防災行政無線の 放送範囲が広がります

平成28年度に増設した防災行政無線の屋外スピーカーの運用が4/1(土)から始まります。防災行政無線の屋外スピーカーから緊急地震速報や津波警報などの緊急情報をお知らせする地域が拡大されます。※新たに設置された屋外スピーカーは、3月から試験放送が行われます
屋外スピーカー設置場所などの詳細は市HPまたは担当課までお問い合わせください。

☎ <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/soumu/3292.html>
問合せ 総務課危機管理担当 ☎72・3190



新たに運用が始まる地域



放送内容

防災行政無線はJアラートに接続されています。Jアラートは、全国瞬時警報システムのことで、内閣官房や気象庁が発信する緊急情報を人工衛星を介して市町村に伝達するものです。これにより、市民の皆さんへ迅速かつ正確な緊急情報をお届けします。

【緊急情報】

- ・国民保護情報(武力攻撃や大規模テロなど)
- ・地震情報(緊急地震速報や震度情報など)
- ・津波情報(津波警報や津波注意報など)
- ・気象情報(大雨、暴風雪の警報など)
- ・避難情報(避難指示や避難所開設情報など)

【訓練放送】

- ・防災訓練や防災行政無線のテスト放送など

【防災以外の行政情報】

- ・保守点検のための定時放送(毎週土曜正午30秒サイレン)
- ・緊急性を有するもの(食中毒警報や熊出没注意など)

放送内容をもう一度聞きたい時

放送から24時間後まで、下記番号で確認できます。
☎72・3150 ※通話料は利用者負担

災害時の情報取得手段

地震や津波、大雨による土砂災害など、災害にもいくつかの種類があります。

いずれの災害も、身を守るために一番大切なことは「その時々において、正しい情報をもって行動する」ということです。

災害の時は、石狩市から市民の皆さんへ、多様なツールを使って情報提供を行います。

今回は、どんな形で皆さんへ情報が届くのかをご紹介します。

①電話で伝えます

町内会長さん、自治会長さんへ直接電話をして、皆さんへの周知をお願いします。

②防災行政無線で伝えます

無線が設置されている地域については、防災行政無線で伝えます。

③北海道防災情報システムで伝えます

テレビ、ラジオ、緊急エリアメールで皆さんへ周知します。

④石狩市メール配信サービスで伝えます

石狩市メール配信サービスの登録者の方へ周知します。

石狩市メール配信サービスの登録方法

緊急・災害情報に限らず、生活に必要な情報(ごみ収集・上水道・道路など)が配信されます。携帯電話で右記QRコードまたは下記URLからアクセスを!

☎ <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/soshiki/jyouhou/3226.html>



海揚がりの神様仏様

「海揚がり」とは、本来、漁などで揚がる陶磁器類を指しますが、時に神様仏様の像の場合があります。市内では、このような「海揚がり」の神仏像が江戸時代から平成までの間で4例知られています。うち3例は厚田区知津狩から望来付近で揚がったもので、今回は現存する2例を紹介します。

一例目は、厚田区古潭の「龍澤寺」にある阿彌陀如来です(写真1)。この仏様は銅製で、高さ40cmほどの小型の仏像です。金箔などとはられて黒ずんで、衣の襷などは摩滅し、海中にあってたことを物語っています。像は明治の少し前の元治元(1864)年秋、厚田区知津狩でサケ網にかかり、翌慶応元(1865)年、夢のお告げで同寺に安置されました。由来は安置する際、新調された厨子の裏に書かれています。

二例目は、おそらく望来付近の網で揚がった



写真1:阿彌陀如来像(龍澤寺)

と推定される恵比須様で「石狩弁天社」(弁天町)にあります。いうまでもなく漁業の神様ですが、ご神体は化石を含んだ三角形の自然石(高さ約30cm)です(写真2)。じつと見ると恵比須様の姿が浮かんできます(写真3)。厨子に天保10(1839)年と書かれていて、この年に祀られたことが分かります。

ご神体とは別に「恵比須石」※1とみられる巻き貝の化石も数個納められています。いずれの石も「望来層」※2(910万年前〜760万年前)からはがれた石と思われる、層がある望来付近で揚がった可能性が高いです。

現在このような「海揚がり」の神様仏様の調査をしています。全道的に数少ないようです。石狩市以外の例としては、明治初期に奥尻町とせたな町の間で採取された円空仏※3ほか1例があります(写真4)。

(石橋孝夫)



写真4:円空仏

- ※1 恵比須信仰では網にかかる石を恵比須石として大事にする
- ※2 石狩ファイル NO.0145-02「望来層の化石」
- ※3 江戸時代の修行僧、円空(1632-95)が作った仏像



写真3:恵比須様のイメージ



写真2:恵比須様(弁天社)



石狩市学芸協力員
石橋孝夫 Takao Ishibashi

専門分野は考古学と石狩史。石狩紅葉山49号遺跡の発掘を手がけたほか、縄文時代から江戸時代に至るサケ漁の方法や文化について研究する。

文化財課 いしかり砂丘の風資料館 ☎62・3711

ERIS 「いしかり博物誌」は、えりすいしかりネットテレビ(<http://www.i-eris.tv/>)でもご覧いただけます。